



1996年第1回「山口大学おもしろプロジェクト」

今年度第28回目の実施となる「おもしろプロジェクト」の第1回目（1996年度実施）にはどんなプロジェクトが採択されていたのでしょうか。記録によると、35件の申請で10プロジェクトが採択され、各プロジェクトに60万円の支援があったそうです。半額の300万円が廣中学長（当時）からの寄付であったと当時の新聞に掲載されています。

「復元『石州街道』」

…旧道沿いに点在する歴史・文化をグローバルにとらえ、その時代を復元する試み

「春の小川ルネッサンス～めだかの学校～」 …平川地域にメダカが泳ぐ小川を復活させよう

「Goods, Radio計画」 …山口大学吉田キャンパスにラジオ局を開設したい

「ボランティア活動について考える'96冬」

…ボランティア活動をキーワードに留学生とパネルディスカッション

「めざせソーラーカーラリー97」 …オリジナルソーラーカー製作

「ホスピス 国際保健研修旅行」 …アメリカのホスピスを訪問し実態を知る

「琉球の言語学」 …沖縄方言の語彙を日常と民謡の両面から調査する

「山口大学留学生現状調査」 …卒業した留学生の現状を調査し、冊子の形で出版したい

「山口大学環境整備マスタープランの作成」

…総合的に大学環境を整備するためのマスタープランを製作する

「山口大学ホームページ」

…インターネット (World Wide Web) における山口大学のホームページの作成と更新

その当時の雰囲気を感じさせる表現もありますが、今も変わらず学生さんの発想のもととなる課題感も見られ、たいへん興味深いです。過去の報告書を自主活動ルームで手に取ってみませんか。



←写真左「おもしろプロジェクト10年史」(上・下巻)

おもしろプロジェクト開始からの10年間は、大学改革、法人化という大きな変化の10年でもありました。学生への支援を続けてきた貴重な資料です。

「めだかの学校」の学生が廣中先生へインタビュー（2014年）



2014年、「めだかの学校」の軌跡をまとめた「山口大学めだかの学校」を発行するにあたり、廣中先生が学生のインタビューに応じてくださいました。

第1回「おもしろプロジェクト」の様子について「驚きましたよ。学生が何か興味をもってやりだすと意外とびっくりするほど必死にやるもんだなと。勉強しろといっても勉強しないのに（笑）」

（「山口大学 めだかの学校」 2014年より）

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**